# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果
# ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区　　名　旭区

学 校 名　高殿小学校

学校長名　山内　太一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和７年４月17日（木）に、６年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1) 教科に関する調査

・国語
・算数
・理科

(2) 質問調査

・児童に対する調査
・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童
・高殿小学校では、第６学年　１０６名

学校名　高殿小学校

## 令和７年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科において平均正答率が全国平均を3ポイント下回る結果となった。無回答率は、全ての教科で選択式の問題は比較的低かったものの、記述式の問題は高くなっており、自分の考えや意見を記述することに課題がある。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

［国語］
正答率を見ると、全ての問題で全国平均を下回る結果となった。「A 話すこと・聞くこと」では、全国平均と近い数値となっている。これは、学習中に交流の時間を積極的にとることで、自分の意見を伝えたり、考えを深めたりする力がついてきていると考えられる。しかし、「B 書くこと」においては、全国平均を大きく下回り、自分の考えを記述する問題では、無回答率も全国平均と比較して高くなっている。一方で、本文から抜き出したり、選択したりする問題は全国平均と比較しても無回答の児童は少なかった。今後は、自分の意見や考えを書く活動を多く取り入れて行く必要がある。

［算数］
学習指導要領の領域に関する正答率だけを見ると、全ての項目で全国平均を下回っているが、個別の問題でみると、作図や計算など、基礎的な問題の正答率や無回答率は全国平均より良い数値のものある。子どもたち自身の学習に取り組む姿勢の高まりや、基礎的な力をつける日々の指導の結果が表れてきているといえるだろう。しかし、国語科の結果と同じく、記述式の問題では、正答率や無回答率の数値が大幅に下がることが課題となっている。

［理科］
理科では、「A区分　エネルギーを柱とする領域」において、大阪市平均を上回ることができた。電気・磁石・金属の関係を正確にとらえるなど、基礎的な力が身についていると言えるだろう。一方で「B区分　生命を柱とする領域」の平均正答率が他の領域よりも数値が低くなっており、自分の身近な植物を観察するための器具の操作や、発展的な問題に課題がみられる。また、他の教科と同じように記述式の問題では、無回答率も特に高くなっているため、自分の考えを表現することが課題となっている。

年間を通して、スクールアドバイザーによる支援を得られ、授業力向上に努めてきたことで、子どもたちの「知識・技能」における基礎的な力が身についてきていることがわかる結果となった。今後は、学校生活全体を通して自分の考えや意見を書く時間をより多くとっていく必要があると考える。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいと思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人のや国田t人間になりたいと思いますか」の項目で、全国平均を上回る肯定的回答率が得られた。「自分には、よいところがあると思いますか」の項目では、全国平均にはわずかに届かなかったものの、高い肯定的回答率を得ることができた。
人権教育を根幹に据えたESDを推進している本校において、低学年から他者とのかかわりを大切にし、集団育成に取り組んできた成果が表れたと考える。

## 今後の取組(アクションプラン)

　これまでの学校の取組と家庭との協力により、学校に行くことを楽しく感じ、いきいきと学校生活を送っている。今後も家庭と協力して、共に子どもの成長を促し、見守り、一緒に成長できる環境づくりに努める。
　本校は国語科を２年間研究している。研究の進め方、取り組み方も一定の成果がでてきたと感じている。国語科の授業が好きと肯定的にとらえている児童は昨年度の６年生よりも９ポイント高くなった。今後も、国語科での考えを深め共有する楽しさを、他の教科につなげていくように研究を進めていく。児童が主体的・意欲的に学習に取り組むために、１人１台学習用端末を効率的に活用しながら、発表や話し合いなどの協働学習を機会あるごとに取り入れていく。

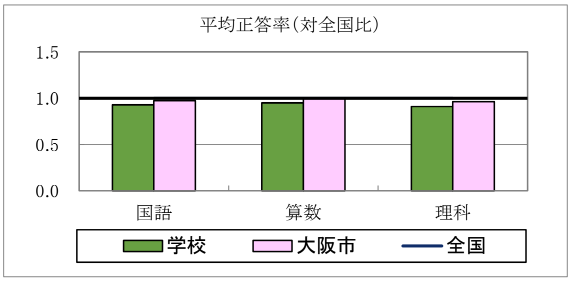
# 【 全体の概要 】

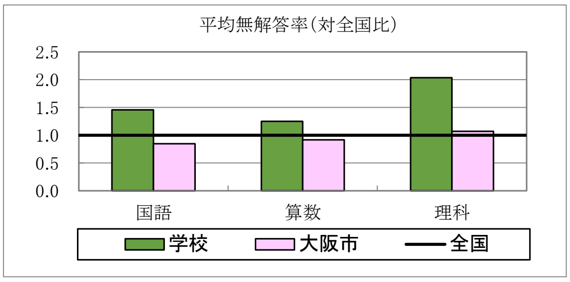
## 平均正答率（%）

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|---|---|---|---|
| 学校 | 62 | 55 | 52 |
| 大阪市 | 65 | 58 | 55 |
| 全国 | 66.8 | 58.0 | 57.1 |

## 平均無解答率（%）

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|---|---|---|---|
| 学校 | 4.8 | 4.5 | 5.7 |
| 大阪市 | 2.8 | 3.3 | 3.0 |
| 全国 | 3.3 | 3.6 | 2.8 |



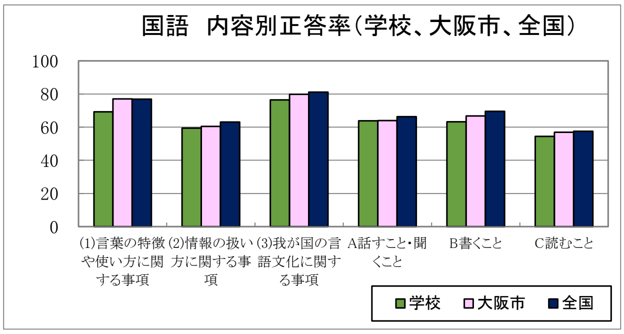



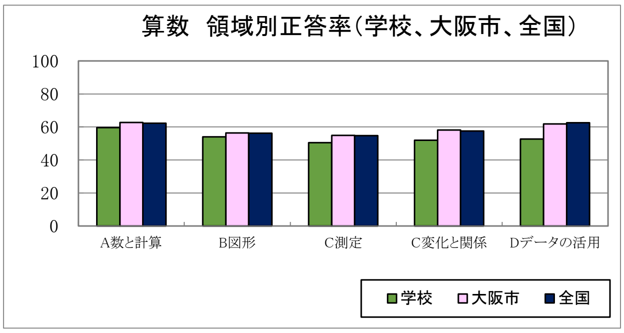

# 【 国 語 】

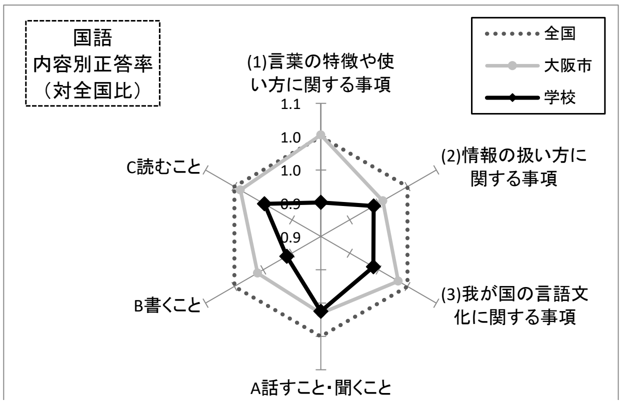
| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) 学校 | 大阪市 | 全国 |
|---|---|---|---|---|
| (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 | 2 | 69.3 | 77.1 | 76.9 |
| (2)情報の扱い方に関する事項 | 1 | 59.4 | 60.4 | 63.1 |
| (3)我が国の言語文化に関する事項 | 1 | 76.4 | 79.9 | 81.2 |
| A 話すこと･聞くこと | 3 | 63.8 | 64.0 | 66.3 |
| B 書くこと | 3 | 63.2 | 66.7 | 69.5 |
| C 読むこと | 4 | 54.5 | 56.9 | 57.5 |

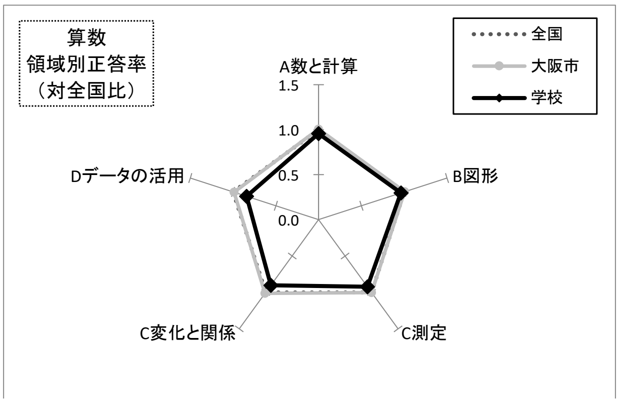
# 【 算 数 】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) 学校 | 大阪市 | 全国 |
|---|---|---|---|---|
| A 数と計算 | 8 | 59.6 | 62.7 | 62.3 |
| B 図形 | 4 | 54.0 | 56.4 | 56.2 |
| C 測定 | 2 | 50.5 | 54.9 | 54.8 |
| C 変化と関係 | 3 | 51.9 | 58.2 | 57.5 |
| D データの活用 | 5 | 52.7 | 61.9 | 62.6 |



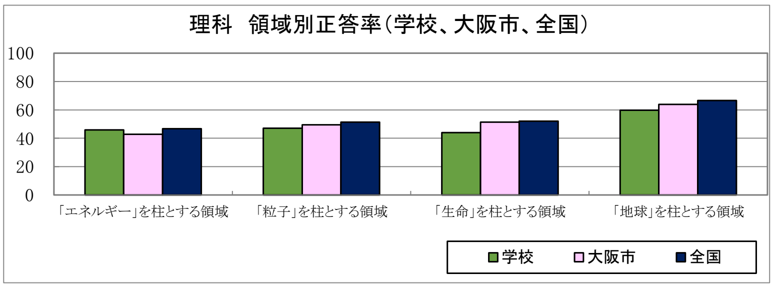



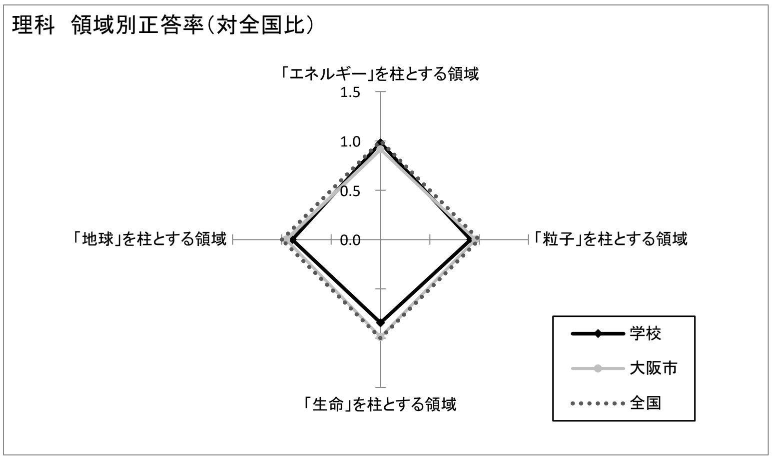



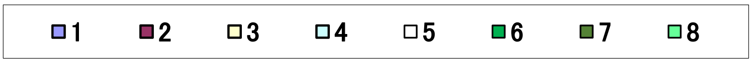
## 【　理科　】

| 学習指導要領の区分・領域 | | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) 学校 | 大阪市 | 全国 |
|---|---|---|---|---|---|
| A区分 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 4 | 45.8 | 42.7 | 46.7 |
| | 「粒子」を柱とする領域 | 6 | 47.0 | 49.5 | 51.4 |
| B区分 | 「生命」を柱とする領域 | 4 | 43.9 | 51.4 | 52.0 |
| | 「地球」を柱とする領域 | 6 | 59.7 | 63.8 | 66.7 |



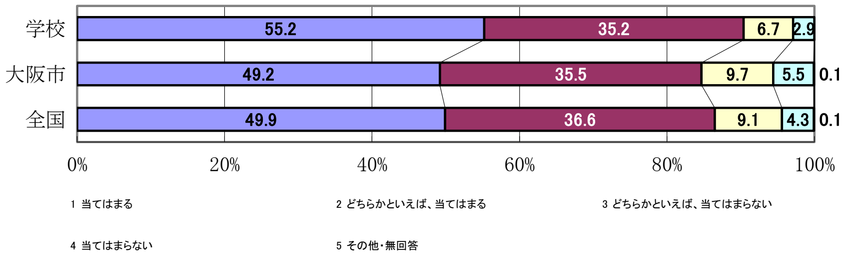



# 児童質問より

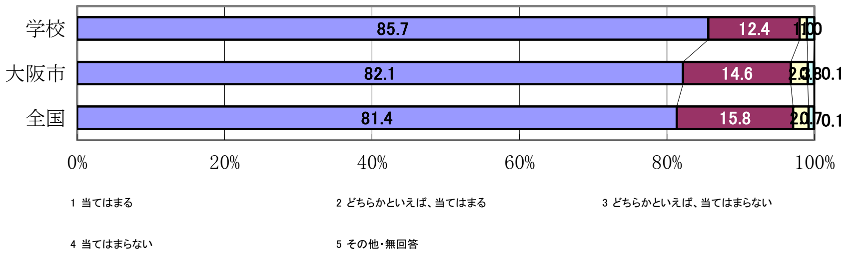



| 質問番号 |
| --- |
| 質問事項 |

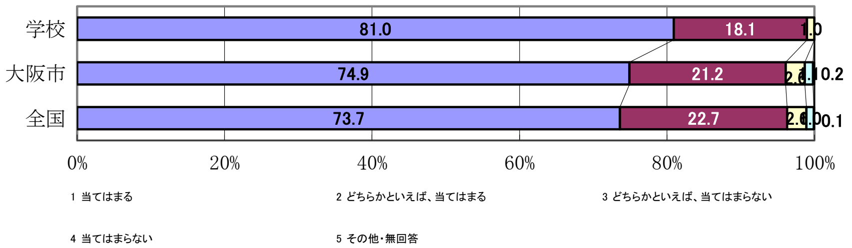
| 12 |
| --- |
| 学校に行くのは楽しいと思いますか |



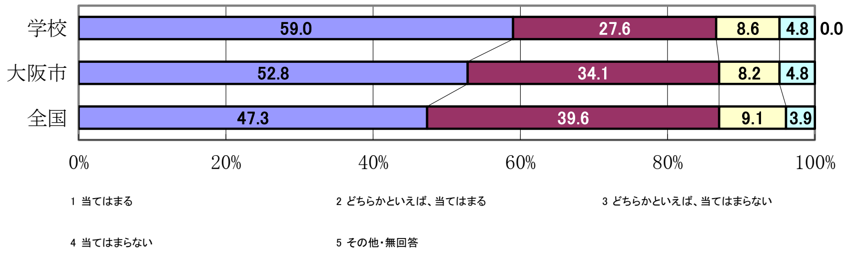

| 9 |
| --- |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか |



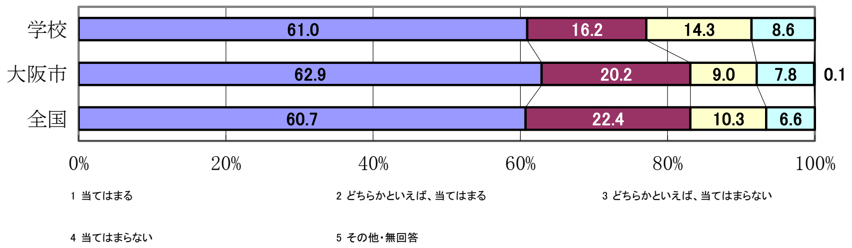

| 11 |
| --- |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか |



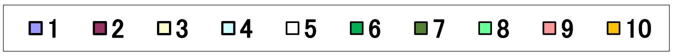

| 5 |
| --- |
| 自分には、よいところがあると思いますか |




| 7 |
| --- |
| 将来の夢や目標を持っていますか |



# 学校質問より

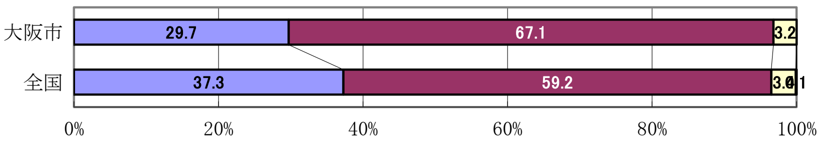



| 質問番号 |
| --- |
| 質問事項 |

## 83

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校　「よく行った」を選択

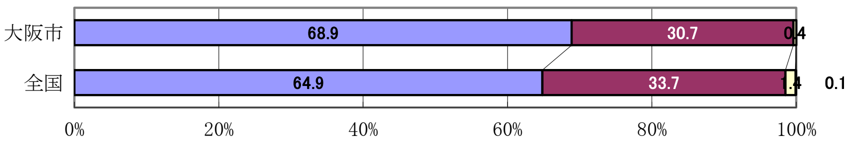



1 よく行った　2 行った　3 ほとんど行わなかった
4 その他・無回答

## 18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校　「どちらかといえば、している」を選択

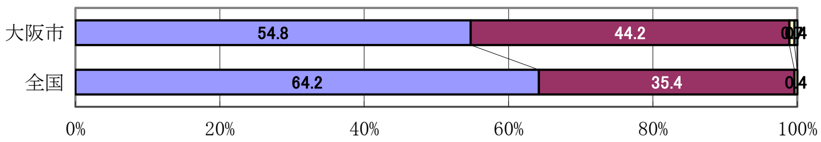



1 よくしている　2 どちらかといえば、している　3 あまりしていない
4 全くしていない　5 その他・無回答

## 21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

学校　「そう思う」を選択

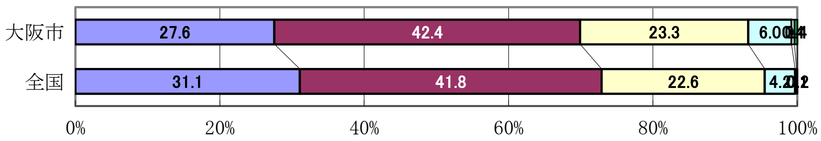



1 そう思う　2 どちらかといえば、そう思う　3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない　5 その他・無回答

## 59

調査対象学年の児童が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校　「ほぼ毎日」を選択

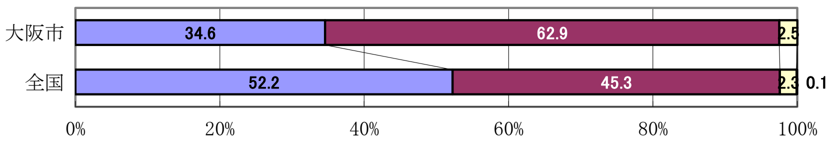



1 ほぼ毎日　2 週3回以上　3 週1回以上
4 月1回以上　5 月1回未満　6 その他・無回答

## 16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校　「どちらかといえば、している」を選択




1 よくしている　2 どちらかといえば、している　3 あまりしていない
4 全くしていない　5 その他・無回答